

学 校 名	山形市立蔵王第二小学校 山形市蔵王上野字南坂2116番地 TEL688-2565 FAX688-9042	校 長	船 越 一 枝
		研究主任	佐 藤 崇 子
研 究 主 題	自ら求め、学び合う子どもの育成(2年次) ～ 個の考えを生かして高め合う授業づくりの中で ～		
主 題 設 定 の 理 由	「心身共に健康で、豊かな創造力とたくましい実践力のある子どもを育てる」という学校目標の具現化に向け、本校では平成12年度より2年間、「生活科・総合的な学習の時間」を通して、一人一人が主体的な課題解決や実践行動ができる子どもを目指した研究に取り組んできた。しかし、生活科や総合的な学習の時間に発揮されるべき表現力や課題に対する意識付け、子ども同士の交流のあり方等について、日ごろの教育活動での取り組みが重要性であるという話し合いがなされた。そこで、昨年度より、研究の窓口を生活科・総合的な学習の時間に指定せず、指導者の選択した教科で研究目標に迫るために、どんな授業実践を図ったのかを提示し合うことによって研究を深めようとしてきた。その結果、多くの児童に表現力の向上や課題に対する自己解決の姿が見られるようになった。 本年度、昨年度の成果を生かし、研究の進め方については同様とするが、研究課題をより明確にし、子どもに確かな力が身につく指導、指導者自身が力量の高まりを自覚できる研究をめざしたい。		
研 究 目 標	主体的に学び共に高め合おうとする子どもを育成するため、「自己解決力」「表現力」「学び合う力」の視点から、学習指導のあり方を、授業実践を通して明らかにしていく。		
研 究 の 仮 説	仮説 1 子どもの願いや実態に基づく課題づくりと解決の見通しがもてる指導の工夫をすることにより、自分なりの考えをもち追求しようとする子どもが育つのではないか。		
	仮説 2 個々の考えが大切にされる授業づくり、自己表現の場づくりなどを積み重ねることにより、自分の考えに自信をもち、より楽しく豊かに表現しようとする子どもが育つのではないか。		
説	仮説 3 ねらいに応じて、多様な交流の工夫をすることで、より広がりのある思いや価値の高い考えを求める子どもが育つのではないか		

研究内容 と 方法	◇ <u>研究の内容</u> 1. 一人一人が自分なりの考えを持ち、表現できるようになるための指導法の工夫 2. 交流しながら互いによりよいものを求め、高め合う授業づくり 3. 基礎・基本を充実させるための学習指導法の改善 ◇ <u>研究の方法</u> 1. 授業による実践研究 (1) 「自己解決力」「表現力」「学び合う力」の三つの視点のとらえ方について学年部で話し合い、授業で検証していく。 (2) 全員による提案授業（大研2回、小研7回） ＊ 教科は限定せず、上学年・下学年部会で話し合って、教科・授業者を決定する。 (3) 大研は全体で、外部講師を招聘して行う。小研は、学年部が中心となるが、学校長、教頭、教務主任に助言者として入ってもらう。 (4) 個人による授業実践のまとめをする。（研究日より） ＊ 自分でやってみて得たもの、課題として残ったものなどを自由にレポートにまとめ情報の交換をしたり、今後の研究に生かしたりしていく。 (5) 実践の記録、成果と課題を研究集録としてまとめ、次年度へつなげていく。 2. 研修 (1) 先進校視察を積極的に行い、情報交換することで学んだことを全体のものにしていく。 (2) 文献・講話などによる学習会。 (3) 研究全体会・研究推進委員会・上下学年部会・学年部会での、主題にせまるための話し合い。						
研究の計画	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="213 1339 280 1630">一学期</td><td data-bbox="280 1339 1439 1630"> 5月上旬 今年度の研究の方向性についての確認（研究推進委員会・研究全体会） 下 テーマ、研究計画、組織の検討（研究推進委員会・研究全体会） 下 三つの視点について（学年部会） 6月 授業研究会の計画・学習指導案の検討（上下学年会・学年部会） 小研 つくし学級（図工） 7月 研修会 </td></tr> <tr> <td data-bbox="213 1630 280 1821">二学期</td><td data-bbox="280 1630 1439 1821"> 8・9月 小研 1年（算数） 10月 小研 4年（社会） 2年（生活） 4年（算数） 11月 大研 3年（総合） 5年（体育） 小研 6年（国語） 12月 研究収録の内容検討 小研 1年（算数） </td></tr> <tr> <td data-bbox="213 1821 280 2009">三学期</td><td data-bbox="280 1821 1439 2009"> 1月 先進校視察報告会（研究全体会） 2月 研究のまとめと来年度に向けて、研究収録作成（研究全体会・研究推進委員会） 3月 研究収録発行 </td></tr> </table>	一学期	5月上旬 今年度の研究の方向性についての確認（研究推進委員会・研究全体会） 下 テーマ、研究計画、組織の検討（研究推進委員会・研究全体会） 下 三つの視点について（学年部会） 6月 授業研究会の計画・学習指導案の検討（上下学年会・学年部会） 小研 つくし学級（図工） 7月 研修会	二学期	8・9月 小研 1年（算数） 10月 小研 4年（社会） 2年（生活） 4年（算数） 11月 大研 3年（総合） 5年（体育） 小研 6年（国語） 12月 研究収録の内容検討 小研 1年（算数）	三学期	1月 先進校視察報告会（研究全体会） 2月 研究のまとめと来年度に向けて、研究収録作成（研究全体会・研究推進委員会） 3月 研究収録発行
一学期	5月上旬 今年度の研究の方向性についての確認（研究推進委員会・研究全体会） 下 テーマ、研究計画、組織の検討（研究推進委員会・研究全体会） 下 三つの視点について（学年部会） 6月 授業研究会の計画・学習指導案の検討（上下学年会・学年部会） 小研 つくし学級（図工） 7月 研修会						
二学期	8・9月 小研 1年（算数） 10月 小研 4年（社会） 2年（生活） 4年（算数） 11月 大研 3年（総合） 5年（体育） 小研 6年（国語） 12月 研究収録の内容検討 小研 1年（算数）						
三学期	1月 先進校視察報告会（研究全体会） 2月 研究のまとめと来年度に向けて、研究収録作成（研究全体会・研究推進委員会） 3月 研究収録発行						